

ビジネス 首都圏 往来

= 44 =

【静岡】ドーワテック、特に果実の熟成装置（鈴木基良社長）の主力機は近年採用が相次いでいる。



鈴木基良社長

ホタテやカキなどの急速凍結機として高いシェアを誇る。貝類のほか、切り身やエビの加工業者ら北海道から九州まで全国に顧客を持つ。水産関係のほか、洗いやすさや霜の防止など使いやすさを重視。同社はお客さまの視点に立った機械作りを基本とする。営業マンは全員が技術職上がり。現場

のミーティングや要望が商品開発に生きる。液を良くできる機械を提供し、お客さんが進めてくれるような商品作りをしたい」と話す。

主力はトンネルフリーザー

現場主義でシェア拡大中

●ドーワテック(株)●

【代表者】
代表取締役社長 鈴木基良
【創業】 1968年2月
【資本金】 4000万円
【問合先】 神奈川県横浜市
都筑区池辺町4407
電 045・933・3081
【HP】 <http://www.dohwa-tech.co.jp>

うに工夫。マは現地業者に委託するニューアルを引が、営業マンは月に1回き出す必要も程度各地を回る。社員教育にも積極的で、「各人ストップなどが会社の中でもオンラインのロス防止にワンになることで取引先もつながる。鈴木社長は「最終段階の社長」と、スキルアップ

凍結技術で、製品の品質のための技術研修などに悪くできる機械を提供は会社から補助を出す。もう一つの柱、果実の熟成装置はバナナが主体。輸入した青バナナを

営業所を持たず、本社から直接全国に出かけ通常のメンテナンスだけで、色づきの調整

ができる。全国の市場中心に利用できる。（東京支社・磯崎真、ボガドなど南国の果実を毎週木曜日掲載）



ホタテ業界での導入が相次ぐトンネルフリーザー

ドーワテック